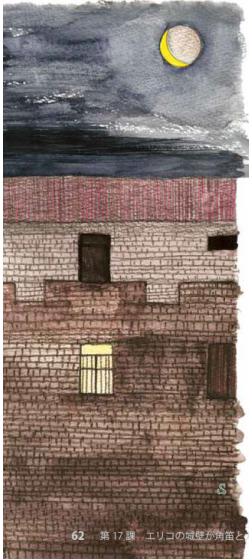




第17課 エリコの城壁が角笛と大声でくずれる

エリコ陥落・ヨシュアが12部族の割当 (ヨシュア記)

モーセの死が近づいてきたとき、モーセは神様に頼みました。「私のかわりに民をみちびく人をあたえてください。そうでないと民は羊飼いのいない羊のようになってしまいます」神様はその願いにこたえ、ヌンの子であるヨシュアを選びました。神様はヨシュアに言いました。「さあ今、この民を連れてヨルダン川をわたり、わたしがイスラエルの民に与えようとしている土地へ行きなさい。わたしはモーセとともにいたように、あなたとともにいる。強く雄々しくありなさい。」



62 第17課 エリコの城壁が角笛と大声でくずれる

ヨシュアは、川のもうこのエリコという町を偵察するために二人の僕をつかいました。彼らはラハブという遊女の家にお泊りしました。ところが、二人がエリコに忍びこんだことが主に知られてしまい、ラハブのところにも主の使いがやってきました。

ラハブは急いで屋上に二人をかくし、主の使いは「その人たちは、もう行ってしまいました。今なら追いつけるかもしれませんが」と家にいれませんでした。ラハブは、神様がイスラエルの民をエジプトから助け出し、海をわたったことを聞いて、この方がこそ本物の神様だと信じ、おそれていました。ラハブは「いま私はあなたがたを助けました。ですから私たちの家族を殺さないで約束してください」と言って、二人を怒から綱でつり下ろして逃がしました。ラハブは城壁に住んでいたからです。二人は、その窓に真っ赤なひもを結びつけるようラハブに言い、ラハブはそのとおりにしました。

※ラハブは城壁の川に住んでいて、その家は城壁の城壁にあつた。(ヨシュア記2:15 参照)

いよいよ、ヨルダン川を渡る日がきました。春のヨルダン川は雪どけ水で今にもあふれそうです。先陣に行くのは、祭司たちがつかう神様の箱です。祭司たちが川に足をふみいれると、氷は流れるのをやめて壁のように立ちあがりました。そして、そこだけすっきりかわいてしまいました。神様の箱をつかいた祭司たちは、民がひとり残らずわたり終るまで川の真ん中に立ちつづけました。祭司たちが川からあがり土をふむと川の水はもとのようにいきおいよく流れはじめました。

民がヨルダン川を渡り終ると神様はヨシュアに命じました。「祭司たちが立っている川の真ん中から、石を12個ひろわせなさい。」選ばれた12人がひとつずつ石を肩にかついできました。その12の石は、民が渡り終るまで川をせき止めてくださった神様の力強さと、すばらしさを忘れないための記念となりました。

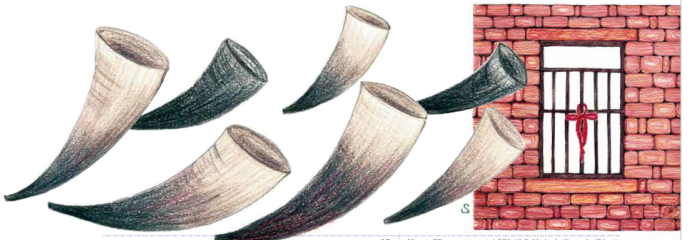
エリコの町は城門をかたく閉ざしていました。イスラエルの民をおそれていたので、神様は、エリコの町と王をヨシュアに渡すと約束しました。その方法は――？

兵士たちがエリコの町のまわりを歩きます。7人の祭司たちは角笛を吹き鳴らしながら神様の箱の前を進みます。決して声を出してはいけません。そのように1日に二回、同じことを6日間くりかえしました。

7日目は朝を7周。祭司たちが角笛を吹き鳴らし、その合図で兵士が大声で開きの声をあげると、あっという間に町の城壁はくずれ落ちました。

イスラエルの兵士は一気に城の中へ攻め入ります。でも、約束どおりラハブの一家だけは助けられました。

ヨシュアが老人になったとき、神様は言いました。「あなたは年をとったが、まだ占領すべき町が残っている。それらをイスラエルの民の相続地としなさい。」ヨシュアは神様のいうとおり次々に町を攻め取り、民に分けあたえたのです。

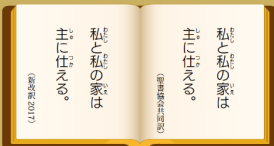


63 第17課 エリコの城壁が角笛と大声でくずれる



もっと教えて！ 第17課 エリコの城壁が角笛と大声でくずれる

エリコ陥落・ヨシュアが12部族の割当 (ヨシュア記)



(ヨシュア記 24章 15節)

神様は、私たちに自由意志をお与えになりました。神様への信仰を持つ自由も、持たない自由もです。しかし、同時に神様はモーセを通して「あなたの前にいのちと死を置く。・・・あなたはいのちを選びなさい (申命記30章19節)」と、私たちに正しい選択をするように促されました。ヨシュアは地上生涯を終えて天に召される際、民に対して「任えたいと思うほうを、今白、自分で選びなさい」と選択を迫り、自身は「主に任える」と宣言しました。

折りましょう

父の愛する神様。

私の人生の中で様々な道を歩くことができることを感謝します。

あなたを愛する道を選ぶことができますように。愛する主イエス・キリストのお名前によってお祈りします。

ヨシュア

ヨシュアはモーセに任された後継者であり、後に後継者としてイスラエルの民を指導しました。ヨシュアという名はヘブライ語で「主は救い」を意味し、その名の通り、ヨシュアは神様の助けを得て、様々な奇蹟を繰り出してイスラエルの民を約束の地カナンに導き入れました。ヨシュアの最も著名な業績は、エリコなどの要塞都市を攻撃し、ガザの地を征服して約束の地を確保したことだです。また、ヨシュアは神様への信仰を保ち、カナンの地の偶像礼拝を排除するなど、宗教指導者としても重要な役割を果たしました。さらに、ヨシュアは約束の地を征服した後、イスラエルの各部族に土地を分配しました。(ヨシュア記)

神様の約束

旧約聖書には、神様が約束された「契約」が書かれています。

(その5)

【土地(12部族)契約 (神様が12部族に約束されたこと)】

かつて、神様はアブラハムの子孫にカナンの地を約束されました(アブラハム契約・創世記15章13-21節)。ヨシュアが率いるイスラエルの民はカナンの地を占領し、この約束が成就しました。年をいたヨシュアは天に召されるにあたり、イスラエルの全部族をアブラハム神の地であるシムムに集め、神様の契約を伝えました(ヨシュア記24章1-28節)。この契約は、神様がカナンの地をイスラエル12部族にお与えになると、イスラエルの民がすべての掟と法を忠実に守ることを内容としていました(申命記11章1-32節)。この時、イスラエルの民は神様に従うことを誓いましたが、その後この契約を守ることに失敗しました。罪ある人間に、完全なる神様の律法を遵守することは不可能でした。そして「新たな契約(新約)」が望まれることになりました。

土地の割当

【各部族の領地と遷れの地の割り当て】

イスラエルの12部族は、カナンの地に相続地を割り当てられました。ヨルダン川の東側の土地は、マナセの部族、ルベン族、ガド族に、彼らの希望通りに与えられました。残る9部族はマナセの部族の領地には、神様がモーセを通して指示された通りにくじ引きで土地が割り当てられました。神様に仕えるために特別に選ばれたシムム族は、土地が与えられませんでした。また、過失によって人を殺してしまつた者が逃げ込む場所として「遷れの町」が神様の指示通りに定められました。「テラタリの山地にあるガリラヤのケデシュ、エフライムの山地にあるシケム、およびユダの山地にあるギルヤデ(ギルヤデ)・アル(すなわちヘブロン)を、これのために選び分ち、またヨルダンの向こう側、エリコの東の方では、ルベンの部族のうちから、高原の荒野にあるベツェル、ガドの部族のうちから、ギルヤデ(ギルヤデ)のラモテ(ラモテ)、マナセの部族のうちから、パシヤンのゴランを選びなさい。」



なぜ?

なぜレビ族には土地の割当がなかったの？

レビ族には、イスラエルの他部族とは異なり、相続地が割り当てられませんでした。これは、神様ご自身がレビ族の相続地となられたためです。レビ族は、特別に選ばれた部族で、神様の住居に居住する役割を担っていました。レビ族は、祭司やレビ人として神様に仕え、イスラエルの人々を導く役割を担っており、イスラエルの人々が主に土地を受け取る役割を担うことができました。そのため、他の部族のように土地を耕したり、牧畜を行う必要がなく、神様に仕えることに専念することができました。土地の相続分を持たなかったレビ族は、土地にまさる祝福を得ていたのです。

第17課のキーポイント！

- 1. 新しいイスラエルのリーダーに選ばれたヨシュアに、神様は何を言われた？ □2. ヨシュアは、川のもうこのエリコという町に二人の偵察隊をつかわしたが、彼らは何と言ふ女の人の家に忍び込んだ？ □3. 「2」の女の人は、「イスラエルの民をエジプトから助け出し、海をわたったことのおかげこそが、本物の神様だ」と信じていた？ □4. 「2」の女の人の助けでもらった二人の偵察隊が、その女の人の家族を助ける目印として、窓に何を言わせた？ □5. ヨルダン川を渡る日、祭司たちが川に足をふみいれると、水はどうなった？ □6. 1日に一周、兵士たちは城門をかたく閉ざしていたエリコの町のまわりを歩いたが、7人の祭司たちは何をしたら？また、それは何日間続いた？ □7. 7日目は朝を7周し、ヨシュアの合図で民が大声で開きの声をあげると町の城壁はくずれた？ □8. ヨシュアは神様のいうとおり土地を民に分けあたえた？